

News Letter

2017.10

Vol. 12

Contents

- 問題解決型実践授業
- ヘルスケアダイバーシティ設立記念講演会
- ファーザーリングジャパン全国フォーラム
- センター事務室が移転して6ヶ月が経ちました



キャリアに関する問題解決実践型授業が行われました



医学教育センター中川幹子先生のご担当で7月14日に開催された医学部医学科・看護学科の1年生を対象とした合同授業で、「健康科学概論」のキャリアに関する問題解決実践型授業を見学してきました。事前に与えられたテーマについて、KJ法と二次元展開法を用いてグループ討論したものを発表するという内容となっています。テーマは2つあり、16班を半分に分けて、1～8班は「将来、医療人として活動する我々が、現時点で身につけるべき資質とは」について、9～16班は「医療人として男女共にキャリアを継続するためには何が必要か」についての発表をされました。1つ目のテーマである「現時点で身につけるべき資質とは」では、コミュニケーション能力・人間力が大事という意見が多くグループから上がっており「他人への気配りや思いやりを見つけれられるよう意識して行動する」との意見でまとまっていました。2つ目のテーマは、今までの健康科学概論の授業の内容（男女共同参画・プロフェッショナルリズム・キャリアパスに関する講義）が活かされたものとなっており、育休からの復職支援体制についての意見が多く出されていました。また、司会進行や発表に対するコメントも学生が主体で行っており、活気あふれる授業でした。学生たちが医療人となるのは4-6年後になります。ワークライフバランスの問題の壁に遭遇するのはもう少し先かもしれませんが、このような授業を受講することで、キャリアパスにおける問題について早くから意識することは、非常に大切なことだと思いました。



授業風景



日本ヘルスケアダイバーシティ設立記念講演会で松浦副センター長が講演しました

2017年7月23日(日) 別府ビーコンプラザフィルハーモニアホールにて、日本ヘルスケアダイバーシティ学会設立記念講演会が開催されました。

日本ヘルスケアダイバーシティ学会は、ヘルスケア領域にダイバーシティの理念を導入し、ヘルスケアダイバーシティの学問体系を確立して課題と展望を明らかにして、ヘルスケアダイバーシティ文化の醸成と普及・啓発、国民への貢献を目的として設立されたものです。

設立記念講演会当日は、副学長・男女共同参画推進担当でもある松浦副センター長が大分大学におけるダイバーシティの推進について、講演しました。年齢、性別、人種や宗教、ライフスタイルなどの多様性(ダイバーシティ)を活かし、個々人の違いを尊重し、抜本的な働き方改革の取り組みについての講演内容となっており、設立記念にふさわしい有意義な講演会でした。

ご参加頂きました皆様、ありがとうございました。

| 参加費・年会費 | | 会場情報 |
|---------|---------|-----------|
| 年会費 | 5,000円 | 別府ビーコンプラザ |
| 個人参加費 | 5,000円 | 別府ビーコンプラザ |
| 学生参加費 | 2,000円 | 別府ビーコンプラザ |
| 企業参加費 | 20,000円 | 別府ビーコンプラザ |
| 特別参加費 | 10,000円 | 別府ビーコンプラザ |
| 特別参加費 | 10,000円 | 別府ビーコンプラザ |

ファザーリング全国フォーラムinおおいた 開催されました

2017年6月16日(金)・17日(土)ホルトホール大分で開催されたファザーリング全国フォーラムinおおいたへ開催されました。開催初日の開会式では、広瀬県知事をはじめ佐藤市長他、経済団体・行政の7名が県内の企業や団体に「イクボス」の輪が広がるようにとおおいたイクボス共同宣言をされました。大分県主催の分科会では、「働き方改革」のすゝめ～イクボスが進める！男の働き方改革～と題して、元祖イクボスでファザーリングジャパン理事の川島高之氏の基調講演が行われました。現在、九州の男性は妻の7分の1しか家事をしていないというデータがあり、仕事と生活の両立ができるよう、男性の働き方改革が求められているそうです。そこで、男性の働き方改革に必要なのが、イクボスです！イクボスとは、部下や次世代と、社会を育てるボスのことで、上司・経営者・管理職で以下を満たしている必要があるそうです。

- ①部下の私生活とキャリアを応援
- ②自らも、ワークライフバランスを満喫
- ③組織の目標(利益等)達成に強い責任感

女性の活躍のためには、イクボスの存在は不可欠な存在だと言われていました。

また、働き方改革が求められる理由としては、これからの企業での主力選手は制約社員(働く場所や時間に制約のある社員)になりつつあるからだそうです。近い将来、制約社員の占める割合は7割となることが考えられ「戦力外通告できない」時代になってきており、男性正社員が失いかけている市場対応力をダイバーシティ組織が頼って再構築しなくてはなりません。その時に全員が活躍できるような職場であれば、業績やサービスの質など組織の成果が高まっているので、仕事と私生活の両立が可能な職場になるとのことでした。

現に川島さんのいた会社では3年間で効果が出ており、「ワークライフバランスは、福利厚生ではなく戦略！まずは、ボス自身が覚悟を持つことが大切」と最後にまとめられていました。

その後、大分のワークライフバランス推進優良企業表彰を受けた株式会社日豊ケアサービスと株式会社大分銀行の取組みが発表されました。株式会社日豊ケアサービスでは働き方改革により離職率を大幅に減らすことができた事例を株式会社大分銀行では女性の支店長代理以上の役職者が増加した事例を発表されました。分かりやすく具体的な取り組み事例紹介により、他の企業も働き方改革について取り組みが推進されるのではと感じました。



目指せ“子育て満足度日本一”
大分から発信！父親の笑顔、母親の笑顔、
子どもの笑顔が社会を変える

ファザーリング 全国フォーラム

in
おおいた

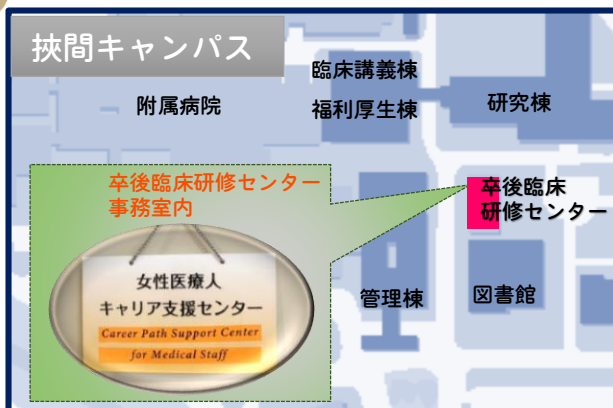
◎日程：平成29年6月16日(金)・17日(土)
◎会場：ホルトホール大分(大分県大分市金池南1-5-1)

センター事務室が 移転して6ヶ月が経ちました

2017年4月3日(月)より大分大学挾間キャンパス福利厚生棟教職員休養室内から卒後臨床研修センター事務室内に、女性医療人キャリア支援センターの事務室が移転して6ヶ月が経ちました。今まで通り、就業・休業・復帰等の相談窓口として、情報収集の場として、より多くの方に知っていただき、集まっただけよう努めてまいります。相談場所もごさいますので、お気軽にお越しください。皆様のお越しお待ちしております。

内線番号・メールアドレスは、変更ありませんので、そのままご連絡いただけます。

女性医療人キャリア支援センター アクセスマップ



お気軽にお立ち寄りください

お知らせ

11月24日(金)17:15よりER棟4階大会議室にてプレパママサロンが開催されます!!
1回目の9月13日(水)に参加された方も再度参加できますので、是非お越しください!